
BLOOD THE BULLET ~死神に狙われた悪党共

雨樽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

BLOOD THE BULLET ~死神に狙われた悪党共

【著者名】

雨鱒

【あらすじ】

死神が描かれたカードが落ちていたら、それは死を意味する。ロケット団の横暴が激しくなるヤマブキシティ。しかし、連中の横暴に終止符を打つべく、何者かが連中の一味を血祭りに上げていく

H&Rローグ（前書き）

まあ、読んで下せこな（笑）

ペローグ

ヤマブキシティはタマムシティと同じ都会的で、人で賑わっていたが、つい最近は物騒な街となつた。

悪名高きロケット団が犯罪を犯す率が高くなり、皆彼らを恐れるあまり賑やかではなくなつたのだ。

ロケット団が犯す犯罪は強盗や殺人、組織内ではポケモンに対し非合法的な実験を施し、彼らの目による行動を抗議する者は家族を含めて闇に消されてしまうのであった。

警察の方もロケット団への取り締まりを強化するも、資金源に恵まれている連中に多額の金をワイロされ、連中の悪行を無罪放免にしてしまう警察も数少なくはなかつた。

市民の安全を守ることが義務である警察が、ロケット団の飼い犬に成り下がるなど、考えられないことであり、住民は警察への信頼を失い、街に住み続ければ連中の食い物にされる、とヤマブキシティから出る者も絶えない始末であった。

こうなればロケット団には好都合であり、横暴はひどさを増すばかりであった。

そう、今のヤマブキシティはロケット団の支配に陥つてしまつたのだ。

ヒューローク（後書き）

次から本格的に物語スタート！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8239y/>

BLOOD THE BULLET ~死神に狙われた悪党共

2011年11月24日17時54分発行